



橋下氏らが強引な主張に終始した大阪会議の第1回
代表者会議＝9月28日、府庁内

「大阪会議」 実質審議に入れず閉会 橋下氏らの無理難題で

大阪府、大阪市、堺市
合を開き、議題などを事
の首長と各議会議員が大
阪全体の広域行政課題な
どを議論する大阪戦略調
整会議(大阪会議)は9月
28日、府庁内で第3回会
た。橋下徹大阪市長(大

阪維新の会代表)や松井
一郎知事(同幹事長)が代
表者会議で、議題の決め
方で無理難題を持ち出し
て譲らず、他会派との合
意に達しなかったため。

「大阪都」構想への再挑
戦を掲げて策動する橋下
・維新の会の強引な政治
代表者会議では大阪会議
の会期や議題の選定、協

議の順位・方法を選定
し、議決は全会一致を原
則とすることを橋下氏も
含めて合意し、第3回会
合で設置が確認されまし
た。

ところが休憩中に開か
れた代表者会議で橋下氏
は、「二重行政解消」の
名で市議会に提案してい
る府市統合議案への大阪
会議の態度を早く明らか
にするよう主張。議題が
全会一致で選定できず決
裂した場合は、大阪会議
の今井豊会長(維新府議)

に議事整理権を与えるこ
とを、先に決めるよう要
求しました。

他会派からは「各会派
・委員が準備した議題を
本会議で示すべき」と反
論しましたが、橋下氏ら
は譲りませんでした。閉
会後の記者会見で橋下氏
は、「これがものが決ま
らない大阪ボンコツ会議
の実態」などと言いつり
ました。

大阪会議は、大阪市の
住民投票(5月)で「都構
想」が否決されたのを受け
て、自民党が設置条例を
各議会に提案して可決。

知事、大阪市長、堺市長
と各議会議員9人の計30
人で構成しています。

橋下氏は第1回会合
(7月)で、大阪会議の目
的は「『大阪都』構想の
対案」であることを規約
に明記するよう強硬に主
張して議論が紛糾し、規
約や議論の進め方などを
決められないまま閉会。

その後、今井会長が第2
回会合(8月)の開催を一
方的に通知し、日本共産
党、自民党、竹山堺市長
が欠席して定足数を満た
さず、流会していました。

会議決裂させ宣伝に利用

「政治の中身」の改革こそ

山中 日本共産党
大阪府議会議員団幹事長(大阪会議委員)の話

日本共産党は、住民投
票で示された民意は「統
治機構改革」といった
「仕組み」ではなく、よ
りよい大阪のための「中
身の改革」こそ必要だと
いう願いだと考えていま
す。大阪会議は、その市
民の願いに背きかねない
などの理由から、設置に
は反対しました。同時に、
設置された以上は、

少しでも府民・市民、大
阪にとってプラスになる
前向きなものとなるよ
う、7月の初会合に出席
し、早く実質的な議論が
できるよう求めてきまし
ています。

橋下市長の就任以来、
大阪市政では「大阪都」
構想の設計図づくりなど
「仕組み」の議論に時間
とエネルギー、税金が費
やされてきました。住民
投票で否決された「大阪
都」構想を再び持ち出し
て混乱を拡大する維新政
治ではなく、南海トラフ
巨大地震などに備える防
災対策、市民の福祉・暮
らしを守り、中小企業を
支援する「政治の中身」
の改革に取り組むことが
求められています。